

関係書類の作成について

～需要に応じた米生産及び経営所得安定対策加入に向けて～

県が示した当町の令和7年産米主食用米『生産数量（面積）の目安』については、「1,475ha」となり、昨年目安より131ha増だが、昨年実績より25ha減となりました。

当協議会においては、6年産においても、米価の安定による生産者の所得維持のため、米の需給状況、県が示す生産数量（面積）の目安を参考に、配分率を約60%（転作率約40%）で作付け転換を目指すことといたします。協議会の目安である60%以内で作付け転換の調整をお願いします。

1. 営農計画書（兼）水稻共済加入申込書兼変更届出書（4枚複写）

（※生産者ごと）

※1月に提出いただいた『令和7年度 水田農作物作付計画』をお返ししますので、作付内容等に変更がないか、まずはご確認ください。

※備蓄米については、契約予定数量に基づき、1月提出の計画書に合計面積のみの記入としております。事務局において取組面積の調整はしておりませんので、ほ場の調整は各自お願いします。

※今回配布の『営農計画書（兼）水稻共済加入申込書兼変更届出書』は6年度の内容で印字されています。作付計画書の内容は反映されていません。

※畑地化対象となった方につきましては、営農計画書の畑地化欄に「畑地化：R5（R6）年度（一括交付・分割交付）」と記載しております。対象ほ場は、出荷販売作物の作付が必要ですので十分ご注意下さい。

①水田の異動確認

耕作する水田に異動がないか確認してください。

集落営農組織名で出荷・販売する場合には、集落営農組織に異動してください。

水田の貸し借り、売買で異動（変更）がある場合には、筆の抹消、追加、変更をしてください。その際、異動の前後で面積が変わることがないように、変更前の耕地面積、水田面積（水張面積）を必ず記入してください。（明らかに相違がある場合を除く。）

◆水張面積の算出について◆

<例> 畦畔率：3% 水張面積率：97%

耕地面積50.04a × 0.97 = 48.5388 ≒ 48.50アール

（1㎡の位を四捨五入して、0.1アール単位にしてください。）

②営農計画書の記入

4枚複写、黒ボールペン書き、押印不要、経営委譲などで耕作者の氏名が変わる場合は、修正（氏名及びフリガナ）してください。

前述の水田の異動確認後、一筆ごとに水稻品種名を確認してください。

また、戦略作物等（出荷・販売をする場合）については、作物ごとに交付金単価が違いますので、作物名・作付面積を記載してください。（空欄のないように必ず記入願います。）

特に、花きについては、「その他花き」とせず、名称を必ず記載してください。

なお、水稻以外の自家消費作物（非販売用作物）については、必ず「自家消費該当」の欄に○印を記入して下さい。

また、利用権設定や特定農作業受委託契約により、借り受けている水田につきましては、必ず地権者の住所（集落名）並びに氏名を記入して下さい。

なお、水田に異動があった場合には、その理由を必ず記載し、特に貸し借り等の場合には、相手方とよく相談して、記入漏れや二重記載のないようにしてください。（記載例参照）

【留意点】

※『水稻作付（引受）面積』欄の記入については、共済引き受け対象となるものであっても、転作扱いになるものは『水稻以外の作物作付等の面積』に記載をお願いします。

備蓄米・飼料用米・加工用米の一般品種（主食用の品種）の場合は水稻共済の引受対象となりますが、『水稻以外の作物作付等の面積』欄に記入して下さい。水稻品種を必ず記入してください。

水稻共済の対象とならない水稻：飼料用米の多収品種（「ふくひびき」など）・WCS用稲

※「備蓄米」「加工用米」については、「方針作成者」との「契約予定面積（a）」に基づき、小数点第2位まで標記して下さい。また、この面積は集荷業者より情報提供のあった数量（令和6年2月26日現在）より算出した面積です。

③水稻共済加入申込について

「水稻共済引受方式及び補償割合選択」欄をご確認いただき、「引受方式、補償割合」を変更する場合は○を二重線で消し、選択する「引受方式、補償割合」を○で囲んでください。変更のない場合は、訂正の必要はありません。

2. 米の生産数量（面積）目安 集計表（※集落ごと）

水稻や転作作物の作付計画がまとまりしだい、まず「米の生産数量（面積）目安 集計表」を作成してください。（記入例については、次のページのとおりです。）

※「備蓄米」「加工用米」については、「方針作成者」との「契約予定面積（a）」に基づき、小数点第2位まで標記して下さい。

今後、増加等変更の予定があればその数量・面積を記入。

3. 戦略作物・町主要推進園芸（重点・振興）作物等作物別集計表（※集落ごと）

米の生産数量（面積）目安 集計表の作成終了後、各農業者別に戦略作物やその他作物の面積集計をし、営農計画書（兼）水稻共済細目書異動申告票の戦略作物等の合計面積と合っているか確認してください。

※「備蓄米」については、「方針作成者」との「契約予定面積（a）」に基づき、小数点第2位まで表記して下さい。

4. 集落推進員報告書 兼 集落推進員報償等振込先口座届出書 兼 振込依頼書

※令和6年度の集落推進員名での届出をお願いします。（※集落ごと）

令和7年度の集落推進員及び報償等振込先口座について記載し提出してください。

米の需要量は、人口減少により全国で年間約10万トンずつ減少していることなどの影響により依然として需要の減少が続いております。

市場の需給バランスが崩れた場合には、更なる米価の下落が想定されます。

需要に応じた米の生産にご協力下さい。

作付内容の変更は営農計画書提出後でもOKです！